

富山市立図書館

図書館だより 第8号



新システム導入に伴って、館内の様子も色々変わりました。利用者端末では、欲しい本を検索して、「印刷」のボタンを押すと自動的に書庫出納票が出てきます。

目 次

特集1 図書館の新しい動き 四国路の二大市立図書館.....	2
お知らせ インターネット予約受付開始！.....	4
私のおすすめ本.....	5
山田孝雄文庫の資料 8.....	6
特集2 祝！ノーベル賞受賞 田中さんのほのぼの語録.....	7
レファレンスあれこれ.....	8

図書館の新しい動き

新図書館建設を見る 四国路の二大市立図書館

高松市図書館



高松駅から 30～40 分ほど歩くと、香川大学の並びに「サンクリスタル高松」という、その名の通り、前面がすべてガラス張りの建物があります。この 1 階・2 階部分が「高松市図書館」で、同じ建物の 3 階に「菊池寛記念館」、4 階に「高松市歴史資料館」が併設されています。

高松市の図書館は昭和 24 年に開設され、同 47 年に高松市市民文化センターに移転しました。その後高松市立図書館協議会、高松市読書連絡協議会が、新図書館建設の陳情を行い、昭和 63 年には「高松市立図書館（仮称）建設検討懇談会」を設置し、望ましい図書館像を検討しました。

新図書館の原案作成には、『母親のための図書館』『これからの図書館』などの著書がある菅原峻氏の協力があったとのことですが、平成元年に原案を修正して、「新図書館基本構想」が策定されました。平成元年 7 月に用地取得、平成 2 年 3 月には菊池寛記念館、歴史資料館を併設する新図書館建築実施設計が完了しました。

平成 4 年、新館が完成し、愛称を公募により「サンクリスタル高松」と決定されました。

この新館ができるまでの経緯を川崎館長から聴きましたが、話の端々から志の高い人であるこ

とが窺われました。おそらく川崎館長はもう少し大規模な、独立施設を理想としておられたのではないかと思います。

しかし、この館は複合施設でありながら、菊池寛記念館や歴史資料館という比較的図書館と融和しやすい施設との複合であり、図書館を利用する人たちにはさほど違和感がないものと思いました。

高松市図書館のサービス網は本館、松島分館（旧本館）、40 の分室（公民館内に設置）移動図書館 2 台で構成されています。実績の主なもの表 1 のとおりです。

貸出上限冊数は 1 人 15 冊までで、図書館全体の貸出冊数が約 211 万冊、市民 1 人当たり 6.3 冊と大変多く、特に注目すべき点は、登録率（人口のうち利用者登録している人の比率）が 48% と高いことです。また、CD やビデオなどの AV 資料の貸出が 22 万点にも上ると言う点です。

表 1 高松市図書館実績

	本館	松島分館
延べ床面積	8,718 m ²	971 m ²
収蔵能力	60 万冊	16 万冊
年間貸出冊数	約 145 万冊	約 47 万冊
図書購入費	72,000 千円	

職員については、本館の職員 41 人のうち司書資格を持つ正規職員はわずか 6 人（富山市は 26 人中 14 人が司書資格を持つ正規職員）で、レファレンスサービスなどを充実するための職員養成という課題があるのではないかと思います。

高知市民図書館



高知駅は、富山駅になんとなく佇まいが似ています。富山と同じように駅前から路面電車が発着しているのですが、高知はどんな街かと、歩いて図書館を目指しました。

アーケード商店街を左手に見て、歩いていくと、真正面に小高く盛り上がった丘(山)があり、その上に高知城がそびえています。駅前から 15~20 分ほど歩いたでしょうか、高知城の堀に面して高知市民図書館がありました。図書館の周辺には高知市役所、高知県庁などがあります。こんなところも富山に似ています。

新図書館構想について浜田副館長と濱田管理係長のお二人に聴きました。

平成 8 年から図書館内で「図書館の長期構想」を考え始め、平成 11 年 4 月その成果として、『新しい時代の図書館 図書館の長期構想』にまとめたそうです。

そして、これをたたき台として平成 12 年に「高知市新図書館構想検討委員会」を設置して、委員による検討を開始しました。委員 5 名の構成は学識経験者 1 名(都市づくりに詳しい大谷英人高知工科大学教授)、図書館協議会委員 2 名、元文化振興事業団職員 1 名、市民 1 名でした。

平成 14 年 5 月検討委員会の報告書『新しい時

代の「市民の図書館」構想』を完成しました。新図書館構想検討委員会では、特に移転先候補地の検討と、複合施設か単独施設か、また複合の場合の望ましい複合相手は何かについても検討したとのことです。

この結果、報告書には市民病院跡地が第一候補地として位置づけられました。この報告を受けて、移転先は市民病院跡地と決定されました。市民病院跡地は現在の本館から 300 メートルほど離れた、やはり高知城に面した場所です。ですから、立地条件は現在の本館とほぼ同じということになります。

また、複合相手として、小児科・婦人科の診療も行う保養施設が決まったそうです。市側では新保健所を併設したかったが、図書館利用者に好ましくない印象を与える、との配慮から保養的施設とすることで、落ち着いたとのことです。

この新館構想では、新図書館は開架 18 万冊、収蔵能力 200 万冊と明記されています。大都会の大阪市立図書館が 300 万冊ですから、地方都市としては壮大な構想です。完成が楽しみな図書館です。濱田管理係長に新図書館構想や現在の本館の運営の仕方などについてお話を聴いていると、図書館にかける熱意や高い志が伝わってきました。現在の狭い本館の中で、できることは手を抜かず、きちんとやっているという感じです。そういう意味でも新図書館の完成が待たれます。

(中央館 亀澤)

表 2 高知市民図書館

	現在の本館	新館構想
延べ床面積	3,740 m ²	9,900 m ²
蔵書冊数	296,093 冊	2,000,000
年間貸出冊数	全館 119 万冊	全館 195 万冊
図書購入費	71,461 千円	

展示 吉川英治と「宮本武蔵」

1月5日～3月5日

中央館 4 階 一般図書室

平成15年4月1日より

インターネット予約受付を 開始いたします！

富山市立図書館ホームページの蔵書検索画面から、予約ができるようになります。小学生以上の方は、どなたでも申込できます。

Q どうすれば申込みできますか？

1. インターネット予約には、まず図書利用カードが必要です。

図書利用カードをお持ちでない方は、まず図書館の窓口で利用者登録をして、図書利用カードを発行してもらってください。(免許証や保険証など、住所の確認できるものが必要です)

2. 次にパスワードを取得してください。

図書館の窓口(中央館・分館・自動車文庫)に「インターネット予約登録申込書」がありますので、図書利用カードをご持参のうえ、必要事項をご記入ください。

ご注意！

パスワード(英数小文字半角6桁)はご自分で指定できますが、「英字」か「英字と数字の組み合わせ」をお願いします。(「数字のみ」は不可)プライバシー保護のため、必ずご本人が直接お申込みください。電話等での受付はいたしません。

予約資料到着の連絡をEメールで希望される方は、「Eメールアドレス」欄を必ずご記入ください。間違いのないよう、正確をお願いします。

3. パスワードの控えをお渡しいたします。

インターネット予約は平成15年4月1日から開始いたします。それまで控えは大切に保管してください。

ご注意！

パスワードの照会には一切お答えできません。万一パスワードをお忘れになった場合は、再度窓口で手続きをして変更してください。

私のおすすりめ本 * * * * *



『命』 柳美里著
小学館刊

『命』は、『魂』『生』と合
わせて三幕ものになっている、
柳美里自身の私記である。

妊娠を告げても責任を取ら
ずとしない男性の子を生み、癌の
末期と告げられた昔の恋人東と
同居して育児と闘病を共に生き
る生活と心理を裸になって書
き綴ったもので、テーマはもち
ろん「命」である。

叩きつけるように激しい言葉を吐いている部分も
あるが、自分の子でもないのに痛みを堪えて沐浴させ
る東の姿など感動的な場面も多く、『命』から『生』
まで終始、心を揺すぶられながら読んだ。そして、そ
のような状況にあってもペンを離さず、むしろそれを
文章化する強靱な精神と、「わたしは書くことを選ん
だ18歳のときから、わたしの人生と言葉を交換し
た」と言い切り、「言葉を鍛えなければならない」と
自分を叱咤する柳美里の姿勢に、表現の手段として言
葉を選んだ人間の心すべきことを教えられた気がし
た。



『枯木灘』
中上健次著
小学館刊

『枯木灘』は、中上健次の「秋
幸もの三部作」の2作目の作品
である。

兄や姉とは父親が違う、私生
児として生まれた秋幸は、26
歳のとき実父龍造と出会うが、
父とは思いたくない。母が秋幸
を身籠もって6ヶ月のときに博
打と傷害で3年の刑に処せられ
た男であり、刑務所に入るとき

に母のほかに2人の女にも孕ませていた男だからだ。
が、幾らそう思っても、自分の中に流れるその男の
「血」を否定することはできない。そうした秋幸の愛

憎、葛藤が、著者自身の郷里・紀州を舞台に描かれて
いる。

「血」をテーマにしていることと、次のような力強
い文章にひかれ、更に別の作品も読んでみたくなった。

「男はまっすぐ秋幸を見つめ返した。その眼が不快
だった。蛇のような眼だった。……喉元に言葉が這い
上がってきた。確かにおまえの子だ。おまえからこの
胸も眼も歯も性器も半分ほどもらった。だが、その半
分が嫌だ」



『天上の青』
曾野綾子著
新潮社刊

『天上の青』は、ベレー帽
をかぶって車を運転し、画家
だと称して次々に女性を誘い、
犯しては殺害した大久保清の
事件に材を取って書かれた小
説である。

曾野綾子については、以前
に『神の汚れた手』を読んだ
り講演を聞いて、辛口でもの
を言う気骨の人という印象を
持っていた。その人がそいう
「犯罪」をどういふふうを書くのか期待を持って読
んだのだが、それは裏切られなかった。例えば次のよ
うな文章がある。

「その話によると、鳥が見ている世界はモノクロで、
ただ食物に適したもののだけに、色がついて見える、と
いうのである。……富士男は、鳥と自分はよく似てい
ると感じていた。自分にとってたいいてい人間はモノ
クロで意味を持たない。しかしモノクロの群衆の中か
ら、富士男にははっきりと色がついて見える存在があ
る。それが若い女であった」

最終的には裁きは神に任せるといふ処理の仕方
になっているのだが、とにかく富士男についての記述に
は全く弁護する姿勢がなく、読み進むにつれて迫力が
出てきて、一気に読んだ。 (神通 明美)

執筆者紹介 1941年富山市生れ。文芸同人誌「青嵐」、文芸誌「牧人」同人。社団法人富山県
芸術文化協会事務局幹事。平成11年、第17回とやま文学賞受賞。

きのしたちょうしょうし
木下長嘯子は安土桃山時代末から江戸時代初期の歌人です。名を勝俊といい、豊臣秀吉の北政所の兄木下家定の嫡男として生まれ、文禄3年（1594年）若狭小浜城主となりましたが、関が原合戦後剃髪して隠棲したため、徳川氏から封地は没収されました。

81歳で没するまで吟詠生活を続け、貞徳、沢庵、小堀遠州、藤原惺窩、林羅山など当代の多くの知識人と親交がありました。作品には『拳白集』十巻などがあり、脱俗的な趣をもつ秀逸な文は芭蕉に高く評価されその俳文にも多大の影響を与えたことで知られています。

「うなゐ松」も『拳白集』のなかの一編です。題の「うなゐ松」とは、墓のしるしに植えた松のことで、この作品の内容を端的に表しています。

「うなゐ」は髻髪とも書き、ウナは項（うな）、𠂔は率・居（ゐ）で、髪がうなじにまとめられているという意味で、子どもの髪を、垂らしてうなじにまとめた形、またその髪型をする十二、三歳までの子どもを指します。この作品は、若くして逝った子を追憶し、死別の悲しみを詠じた和歌と長歌を収めた文章です。

この本も巻頭に書題がなく、序も跋もついていません。また表紙に外題もなく、本そのものからは書名を確定できません。

国立国語研究所の山田貞雄先生に見ていただいたところ、次のようなことを教えてくださいました。

末尾に「長嘯」とあることから、木下長嘯子の著作であるらしいこと。文中に「豊臣氏春光院万花紹三」という名がでてくるが、国書総目録に出ている長嘯子の著作「豊臣春光院万花紹三追悼録」とは違うこと。また、内容は亡くなった子を哀悼する文・歌であることなどから、『拳白集』のなかの一編ではないかと思われる



〔うなゐ松〕 木下長嘯子著 〔江戸中期写〕

墨付 24丁 たて 26.0cm × よこ 19.8cm

毎半葉 8行 1行 18字内外

冒頭：「やえやえのおとうとに三となつくめるは後すみける人のみたりにあたるるなへし」 末尾に「長嘯」とあり

ということ。そして、活字本『長嘯子全集』（古典文庫刊）を対照してみれば分かるのではないかと教えていただきました。

対照するためこの写本の釈文をつくり（つまり、読みくだして楷書に直し）『長嘯子全集』を国会図書館から借用して、冒頭のことばが同じ作品を探しました。この結果『拳白集』巻第十に収録されている「うなゐ松」であることが分かりました。

『長嘯子全集』には口絵写真として、内閣文庫蔵の伝長嘯筆の「うなゐ松」巻頭の半葉が載っています。山田孝雄文庫所蔵の写本の筆跡も筆慣れた人が書いたものとみえますが、長嘯の筆跡とはだいぶ違うものです。

（中央館 亀澤）

祝！ノーベル賞受賞

田中耕一さん ほのぼの語録

昨年 12 月 10 日、わが富山市出身の田中耕一さんがノーベル化学賞を受与されました。

教授でも研究者でもない一サラリーマンが受賞、ということでも驚きでしたが、田中さんはその素朴な人柄とユーモアのある発言でたちまち日本全国で大人気に。「癒し系」田中さんのほのぼの語録をお届けします。



受賞直後の会見「ビックリか、と
思いました」

田中さん、最初は自分がノーベル賞を受賞したのだということがまったく信じられなかったらしく、ドッキリカメラかと思ったみたいです。この時は会見場にも普段の作業着姿で登場、その飾らない人柄と、突然のことに少々とまどいぎみな様子がこちらにも伝わってきました。

実は鉄道好き「鉄道少年が少し生きてま
すので、もう新幹線に乗るのが楽しみ」

東京への移動のため、新幹線に乗る際に口にした言葉。何気ない一言ですが、このときの田中さんの目は輝いていました。いつまでも少年の心を忘れない田中さんです。

生まれ育った富山「富山の人忍耐力強い
と言われるが、私はまさにそのタイプ」
「とてつもない賞を取る礎は、富山県
人の粘り強さが大きく影響したと思
う。富山に生まれ育ってよかった」

田中さんがノーベル賞を受賞するにいたったこつこつと粘り強く地道な研究姿勢には、富山

県人の県民性も大きく影響しているようです。現在は京都にお住まいの田中さんですが、たびたび生まれ故郷の富山への思い入れを口にしておられ、その思いの強さがうかがえます。

受賞翌日「(授賞式で)英語でスピーチ
するのは勘弁してほしい」
記念講演後の会見「I do not want to
speak English for a while. (もう英
語は話したくない)」

田中さんは実は以前イギリスに 5 年間滞在していたこともあり、英語でのスピーチも流暢に話されますが、カメラの前ではあまり自信のない様子。田中さんはこの記念講演のため、何回も英語でのスピーチの練習を重ねたそうで、講演が終わった後のこの発言でした。でもこれも英語ですよ、田中さん(笑)

最後に、私が一番感動した田中さんの一言。

小学校 4 年生のときの読書感想文
「自分の頭で考え、自分の足で歩
き、自分の手で作ることは必要は、
今でも、どんな進歩した未来でも同
じ事だ」

さすがは田中さん、決して現状に甘んじることなく、常に試行錯誤を忘れない姿勢が、この一言によくあらわれていると思います。この信念により、のちのノーベル賞につながる発見がうまれたのではないのでしょうか？

ちなみに、そのときに田中さんが手に取って読んだかもしれない本、『空中都市008』（小松左京著）は、わが図書館に現在でも所蔵しております。興味をもたれた方は、5階青少年図書室までおたずねください。

（中央館 宮本）

レファレンスあれこれ

Q. 管子の権修編に「十年の計は穀を植うるに如くは莫く、十年の計は木を植うるに如くは莫く、終身の計は人を樹うるに如くは莫し」という言葉があるらしいが、正しいか

A. 正月明け、さっそく、ファックスで上記のような質問を受けた。

著者が管子とわかっていたので、『新釈漢文大系 42 管子 上』を見ると、第一巻 権修第三に上記の言葉が載っていた。しかし、正しくは「一年の計は穀を樹うるに如くは莫く、十年の計は木を樹うるに如くは莫く、…」であった。

解釈として、「一年を目安とする計画は、穀物を植えるのが一番よい。十年を目安とする計画は、木を植えるのが一番よい。一生を目安とする計画は、人を植えるのが一番よい。一度植えて一度収穫のあるのは穀物である。一度植えて十度収穫のあがるのは木である。一度植えて百度も収穫のあがるのは人である。」と記されていた。

Q. ケヤキは、どうして‘富山市の木’に選ばれたか

A. 富山市では、街路樹としてよく見かけるケヤキの木。

さっそく、『富山大百科事典』で‘ケヤキ’および‘富山市’で探してみると、ケヤキの木は、市の木であることは載っているが、選ばれた理由までは書かれていない。

そこで、『ビジュアル富山大百科』の富山市の項を見てみると、富山市の沿革が出ており、昭和48年に市の木「ケヤキ」、花木「ツバキ」、草花「アザミ」に決定とのみ書かれていた。

次に、もっと詳しい資料でということで、『富山市史 第5巻』を見てみると、「昭和48年2月6日に富山市の緑化推進のシンボルとして、市の木に「ケヤキ」市の花木に「ツバキ」、市の草花に「アザミ」を決め答申した。これを受けて市では、これらの木や花を増やして、緑豊かな町づくりを進めることにした。」と書かれており、あわせて、その選定の理由も載っていた。

ケヤキは富山市には、比較的多く、四季それぞれの趣があり、公害に敏感でスモッグがひどくなると葉が落ちる習性がある、ということから選ばれたということだった。

（中央館 柴田）

平成15年01月21日 富山市立図書館 編集・発行
富山市丸の内1丁目4-50 TEL 076-432-7272
新HPアドレス <http://www.library.toyama.toyama.jp>